

令和5年度第2回指導者育成委員会の開催

10月12日(木)開催の標記委員会の概要についてお知らせします。



－報告事項－

■スポーツ指導者の公的な仕組みに関する検討プロジェクトの設置について

中学校の運動部活動改革を契機に、地域スポーツ活動における資質能力を備えたスポーツ指導者の確保が課題となるなか、スポーツ指導者資格の新たな公的な仕組みに関して検討するため、本委員会に有識者によるプロジェクトを設置することを報告しました。

なお、プロジェクトでの議論にあたっては、各専門部会と適宜連携しながら進めることを確認しました。

■当協会と日本郵政とのパートナー契約について

令和5(2023)年10月5日に記者発表した日本郵政との契約について、契約に至った背景を含む概要に加え、今後予定している具体的な事業内容について報告しました。

また、次回の本委員会開催までに、本委員会としての判断が必要な場合の対応については、勝田委員長に一任することを確認しました。

－協議事項－

■各種規程の改定について

(1)指導者マイページの大規模改修に向けた対応

運用開始から10年以上が経過しプラットフォームの改修が必要となっている「指導者マイページ※」について、今後新たに事業横断の情報システムとなる「JSPO マイページ」に移行することも見据えて大規模改修を行っており、令和6(2024)年2月に切り替え予定となっています。

このことに伴い各種規程等の改定が必要となりますが、現時点で改定内容が確定していないことから、次回の本委員会までに対応が必要となった場合は、その対応を勝田委員長に一任することが承認されました。

※指導者マイページ:

公認スポーツ指導者資格の取得時や取得後の個人情報等を指導者自身が管理できるWebサービス

(2)公認スポーツ指導者登録規程の改定

上記(1)に伴う修正(「指導者マイページ」の表記の修正や登録番号の桁数の修正等)と併せて、現状の運用の反映や表記の整理・修正をすることが承認されました。

なお、上記(1)と同じく、最終的な改定内容については、勝田委員長に一任することが承認されました。

(3)公認スポーツ指導者更新研修承認基準の改定

更新研修で実施されるメディカル・コンディショニング資格(スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士)に係る内容の質を確保するため、更新研修承認基準の講師基準について、当該内容の講師は、原則として当該資格を保有する者とすることが承認されました。

■公認スポーツ指導者養成専門科目カリキュラムの改定について

カーリングコーチ1資格について、カリキュラムの改定が承認されました。

■令和5年度公認スポーツ指導者等表彰候補者について

標記表彰について、第1号表彰167名、第2号表彰73名、第3号表彰1名、第5号表彰2名の計243名を受賞者として決定することが承認されました。

なお、表彰式が開催される令和5(2023)年11月23日(木・祝)までに資格更新手続きを完了しなかった受賞者については、受賞の条件を満たさないため、受賞対象から除かれます。

<参考> 公認スポーツ指導者等表彰の基準(要項からの抜粋)

区分	推薦団体等	条件
第1号	都道府県体育・スポーツ協会および中央競技団体	公認スポーツ指導者資格登録認定後、通算15年以上で、競技団体もしくは都道府県体育・スポーツ協会等から表彰を受けた者
第2号	中央競技団体	前年度開催のオリンピック競技大会等において優秀な成績を収めた選手を育成指導してきた公認スポーツ指導者
第3号	中央競技団体	受賞年度に満30歳以下の者のうち、今後、当該推薦団体において中心的な役割を担うことが期待される公認スポーツ指導者
第4号	都道府県体育・スポーツ協会および中央競技団体	15年以上にわたりスポーツの指導育成に貢献し、退任した公認スポーツ指導者
第5号	当協会指導者育成委員会	公認スポーツ指導者制度の確立及び発展のために貢献し、当協会が特に認めた者

※第4号表彰は、都道府県体育・スポーツ協会および中央競技団体長に表彰者の審査・決定を委任

■令和5年度公認スポーツ指導者全国研修会について

標記研修会については、令和5(2023)年11月23日(木・祝)に、JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE(東京都)において、対面とオンラインを組み合わせたハイブリット形態にて下表の内容を実施することが承認されました。

講演 (60分)	<テーマ> 「スポーツ指導における暴言・叱責がプレーヤーに与える影響」 <講師> 南部 さおり 氏(日本体育大学スポーツ文化学部武道教育学科 教授)
講演 (60分)	<テーマ> 「今日のスポーツ指導者像と後継者育成」 <講師> 上田 誠 氏(香川オリーブガイナース球団、前慶應義塾高校野球部監督)
座談会 (90分)	<テーマ> 「次世代につなぐ新たな仕組み」を踏まえたコーチング <コーディネーター> 松尾 哲矢 氏(立教大学スポーツウェルネス学部教授) <パネリスト> 荒木 絵里香 氏(トヨタ車体クインシーズ チームコーディネーター) 荒木 香織 氏(株式会社CORAZON チーフコンサルタント、 順天堂大学スポーツ健康科学部 客員教授 元男子ラグビーフットボール日本代表メンタルコーチ) 河合 純一 氏(日本パラリンピック委員会 委員長)

■令和 5 年度各種養成講習会受講者の修了判定について

各受講者の修了判定のうち、JSPO が判定を行うものは、勝田委員長(ならびに必要なに応じ各部会の部長)に確認・判定を一任することが承認されました。

■コーチ 3 養成講習会受講者による不適切行為に係る対応について

コーチ 3 養成講習会を受講中の 2 名について、JSPO 倫理規程に違反する行為を行った可能性があることが判明しました。

このため、協同認定団体と連携して事実を確認した後、再教育プログラム審査会委員の見解を確認し、最終的な取り扱いについては、勝田委員長に一任することが承認されました。

■次期「公認スポーツ指導者育成アクションプラン」について

「JSPO 中期計画 2023-2027」で示された重点項目を達成するための具体的な取り組みとして設定されている 32 の成果目標のうち、本委員会が関わる以下 3 点の内容を確認しました。

- ・ 公認スポーツ指導者数の増加
- ・ NF・PF 主催大会における監督・コーチ等への公認スポーツ指導者資格の保有義務付け
- ・ 公認スポーツ指導者に対するインテグリティ研修の義務化と研修ポイント制の導入

その上で、以下の 3 つの柱からなる「公認スポーツ指導者育成アクションプラン 2023-2027」の取り組みを通して、『「スポーツの指導には、資格を有する者が当たらなければならない」を常識にする』ことにより、地域スポーツの最適化やスポーツインテグリティの強化などに貢献することで、「JSPO 中期計画 2023-2027」で目指す、すべての人々が Well-being を実感できる社会の実現につなげるという全体イメージを確認しました。

- ① 量の確保【資質能力を備えた公認スポーツ指導者の養成】
- ② 資質能力の向上(学びの支援)【公認スポーツ指導者の資質能力の維持・向上】
- ③ 制度等の改善【①②の取組促進に向けた環境整備】

詳細な取り組みにあたっては、本委員会内に設置している事業推進プロジェクトを中心に進めるとともに、新たに設置された「スポーツ指導者の公的な仕組みに関する検討プロジェクト」での検討内容等も踏まえて、適宜内容を修正していくことが承認されました。